

## 第1回 女川町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成25年9月24日(火) 13:30~15:00

2. 場 所 女川町役場仮設庁舎 2階 第2会議室A

### 3. 出席者

#### ○委員

女川町	副町長	阿部 一正
女川町行政区長会	会長	齋藤 俊美
女川町社会福祉協議会	会長	阿部 恵子(欠席)
ミヤコーバス株式会社	所長	山崎 強
(代理出席)	取締役	千葉 一彦
株式会社黄金バス	代表取締役	木村 洋之
株式会社黄金タクシー	代表取締役	木村 信雄
(代理出席)	副社長	木村 寛一
東北運輸局宮城運輸支局	首席運輸企画専門官	早川 勤也
宮城県東部土木事務所	技術次長	後藤 孝二
石巻警察署	交通課長	手島 俊明
(代理出席)	交通課交通指導係	佐々木 憲男
宮城県震災・復興企画部	総合交通対策課長補佐	千葉 恵子
公立学校法人宮城大学	教授	徳永 幸之

### 4. 議事要旨

#### ○事務局より、開会及び委嘱状交付

- ・地域公共交通会議にご出席いただきありがとうございます。また、委員の就任についてご快諾いただきありがとうございます。
- ・ただ今より平成25年度第1回女川町地域公共交通会議を開催させていただきます。次第に基づいて会議を進行させていただきます。
- ・本日は、第1回目の地域公共交通会議なので、会議に先立ち、女川町長より委員の皆さまに委嘱状を交付していただきたいと思っております。

#### ○女川町長より、委嘱状交付

- ・委員に対して委嘱状を交付した。

#### ○事務局より説明

- ・続きまして、今回の開催にあたり町長、須田善明からご挨拶致します。

#### ○女川町長より挨拶

- ・委員の皆さまには本庁からの要請に対し、ご理解とご協力を賜り本会議の委員にお越しいただいたこと、お礼を申し上げます。皆さまのお力をお借りしながら、また業務としての発注している中で、わが町の交通体系をどのように、それも公共的な部分をどのように作っていくのかを中心に会議の中で検討していきたいと思っております。
- ・震災前は、町内事業者の皆さまにご協力いただきながら運行してきましたが、震災後、道路も寸断され、また、JRの方もまだ復旧できない、そのような中で地域の足を確保するため、バス事業者の皆さまにお力添えをいただいていたところでした。
- ・わが町の復興計画は5年半が復興期間になっています。この中で、基盤整備をはじめ、交通ネットワークをもう一度作り上げていかななくてはならない状況です。このような状況の中で、新しい今後のまちづくりに向けた交通計画のあり方、地域の足としての公共交通の構築をどのように進めていくのか、これは数年後に始めることを含めて、段階的に進めていく必要があります。
- ・現在、地域の皆さまからさまざまなご要望をいただいている中で、行政的な視点から見ると、財源等の投資をいただいている中で進めている部分があります。この点については、今後の財源の減少、あるいは復興事業に伴うさまざまな取り組みというものがあることを念頭に置きながら検討していかなければならないというところがあります。その中で、住民の皆さまにとって安心できる公共交通のあり方、サービスの提供ということを実業者の皆さまと考えていかなくてはならないところです。
- ・今回は第1回ということで、さまざまな見地から意見を出していただき、とりまとめ、また熟考して進めていきたいと考えていますので、今後ともお力添えをお願いさせていただき、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

#### ○事務局より地域公共交通会議設置の趣旨等の説明

- ・地域公共交通会議設置の趣旨について説明した。

#### ○事務局より委員紹介

- ・本日会議にご出席いただいた委員の皆さまを紹介した。
- ・本日は、住民代表の女川町社会福祉協議会の阿部恵子会長が欠席ということで、本日は、出席10名の委員の皆さまにより会議の方を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

#### ○事務局より議事説明

- ・議事進行については、女川町地域公共交通会議の設置要綱の第5条と第6条に基づき、会長である阿部副町長が議長となり、議事進行をお願いしたいと思います。

#### ○議長より挨拶

- ・要綱の規定により議長を務めさせていただきます。先ほどの町長の挨拶の中でもありましたが、まだまだ部分的にしか復興が進んでいないという状況です。そのような中で、短期的、長期的に女川町の公共交通が住民にとって利用しやすく、そのサービスが持続提供できるような形ができ

れば良いと思っています。委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただければと思っていますので、よろしくお願い致します。

- ・地域公共交通ネットワーク計画策定の趣旨について、事務局の方から説明をお願いします。

○事務局より説明

- ・地域公共交通ネットワーク計画策定の趣旨について説明した。

○議長より意見

- ・ただ今の趣旨説明に関してご質問・ご意見などがあればお願いします。
- ・それでは、地域公共交通ネットワーク計画策定の進め方について、説明をお願いします。

○事務局より説明

- ・地域公共交通ネットワーク計画策定の進め方について説明した。

○議長より補足説明

- ・ただ今、説明があったバス利用実態調査や関係者ヒアリングは実施済ということです。あと、住民アンケート調査が現在進行中ということです。これらの調査結果を整理して、住民懇談会等の意見も徴収した中で、次回の第2回地域公共交通会議を開催し、3回目には26年度の運行について審議するというような内容を説明していただきました。委員の皆さまからご意見等があればお願いしたいと思います。

○委員Aより意見

- ・既に実施済のヒアリング調査について、交通事業者、病院、商業、福祉などにヒアリング調査を実施していますが、そこから出てくる課題や連携の必要性などが多々出てくると思います。地区懇談会で住民の方々との協議はありますが、今回のヒアリングで事業者との協議は終了ということでしょうか。町が絡むことであれば、そこから情報ないし連携していくことは可能だとは思いますが、町に直接的な部分だけではないように思います。

○事務局より説明

- ・初めに関係者へのヒアリング調査を実施させていただきました。今後検討していく中で連携していただきたい部分が発生してくることが既にある程度は想定されています。これについては、特に会議を設けるということはありませんが、ワーキング的に集まっていただいて、タクシー会社、バス事業者などと協議しながら具体化していきたいと考えています。

○議長より意見

- ・平成26年度からの町民バス有料化に向けて検討という部分ですが、これはアンケート調査項目に入っているのでしょうか。

○事務局より説明

- ・資料2のP5に26年度から町民バス有料化に向けてと示していますが、調査票としては26年か

ら有料化と示しているわけではなく、もし有料化した場合にどのくらいお支払いしていただけますかというような質問になっています。

○議長より意見

- ・有料化ありきで進めていくということでしょうか。

○事務局より説明

- ・事務局としては 26 年度からすぐに有料化ということは考えていません。仮設住宅がまだまだ残っている状況の中で、ここ数年間は無料で運行しなければならないと考えています。ただ、国からの補助金が 25 年度で終了予定となっていますので、町単独でやらざるを得ない状況にはなる可能性があります。
- ・仮設住宅から災害公営住宅や自立再建した段階で、有料化するタイミングを見極めていきたいと思っておりますが、ここ 3 年間は少し難しいのではないかなと事務局としては考えています。

○委員 B より意見

- ・住民からバスは不便との意見が出ているので、住民の方々の視点に沿って、見直しなどの整備を進めてほしいと思います。
- ・それから運行時刻などが変更になったら、わかりやすい説明をお願いします。

○議長より意見

- ・計画策定の進め方については今のような状況ということで、よろしいでしょうか。
- ・それでは、地域公共交通の現状と問題点について説明をお願いします。

○事務局より説明

- ・地域公共交通の現状と問題点について説明した。

○委員 C より意見

- ・お金に関わる問題が一番大きいと思うので、情報提供させていただきます。8 月末の時点で、既にご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、国交省の 26 年度の概算要求の中に 27 年度までの延長を含めた形で総額 26 億円を要求しているという段階です。あくまで要求ベースなので、この内容がそのまま通るか否かということは今の時点では申し上げられないところです。

○委員 B より意見

- ・運賃という話で見ると、アンケートで 100 円～200 円は支払っても良いという方は、お金を支払うので、もっと利用しやすくしてほしいというような要望が多分入っていると思います。もっと自宅の近くに来てほしいとか運行本数を多くしてほしいとか、そういった要望があると思いますがいかがでしょうか。

○事務局より説明

- ・そういった要望はあると思います。震災の前に運行していたデマンド交通を復活してほしいなど

の要望もあると思います。

○議長より意見

- ・デマンド交通は何年運行していましたか。

○事務局より説明

- ・平成 18 年から試験運行を始めて運行していました。

○事務局より説明

- ・現在、実施しているアンケート調査でもそうですし、今回参考資料として過年度住民アンケート調査結果を添付させていただいております。アンケート調査項目については外出の状況やバスの満足度などを質問しており、デマンド交通について具体的には質問していません。しかし、自由回答のところで、シーパルを復活してほしいというような意見が出ており、要望が根強いということが示されています。

○委員 B より意見

- ・現状をみると場所によっては、総合運動場を経由するため、バスに乗っている時間が非常に長くなってしまいうケースがあります。
- ・そのため、乗り継いで病院や仮設商店街の方に行きたいなどの要望が出ており、検討する必要があると思います。

○事務局より説明

- ・運行時間が 1 時間強になってしまうという現状があります。

○委員 A より意見

- ・乗り継ぎは非常に嫌がられる場合が多く、時間がかかっても良いから乗り継ぎなしで行きたいという要望の方が多いのが現状です。しかし、それでも乗り継ぎという要望が出てくるということは、それ以上に時間がかかっているということで、乗り継ぎしてでも早く行きたいという要望だと思います。

○委員 B より意見

- ・あと、高校生のことですが、土日は学校が休みですが、部活動があります。現在は家族の方が、浦宿の駅まで送迎しています。
- ・そのため、できれば土日にも町内バスを運行してほしいと思います。特に帰りの時刻が困るので、最終を 18 時にするなどを検討していただきたいと思います。

○事務局より説明

- ・7 月にダイヤ改正を行い、毎月第 2、第 4 の土曜日と日曜日を試験的に運行しています。土曜日だけ毎週運行した方が良いのかなどいろいろ検討しましたが、土日で隔週、第 2 と第 4 で始めております。毎週土日となると、車両のメンテナンスなどにも日数を要するので、年中運行するこ

とは、予備車両を抱えていないこともあり、難しい部分があります。

- ・あと、運転手など人員の問題もあります。そのような問題があり、第2と第4の土曜日と日曜日に運行しています。

○委員Aより意見

- ・今の人員について確認ですが、現在、それぞれの便、町内循環便であれば一人の運転手でカバーしている仕組みなのでしょうか。

○委員Dより説明

- ・町内循環便は2名の運転手で運行しています。

○委員Eより説明

- ・五部浦便と北浦便は2名ずつ、計4名で運行しています。

○委員Aより意見

- ・1日2名体制で運行しているのか、交代制で運行しているのかを教えてください。

○委員D及び委員Eより説明

- ・1日おきの交代制で運行しています。

○委員Dより意見

- ・資料3の説明の中で、運行路線の問題点として、町民バスと他のバス路線が一部重複しているということですが、どこの箇所が重複しているのかを教えてください。

○事務局より説明

- ・資料2のP4の路線図ですが、赤色の路線が町民バスの町内循環便、緑の線が町内バスの五部浦便、紫が北浦便で、青色がミヤコーバスさんの路線になりますが、重なっている部分が重複している路線という意味です。
- ・当然の話ではありますが、総合体育館から石巻までは、女川町の幹線部分だと思います。そのため、その部分は、色々な路線が重ならざるを得ないところもありますが、先ほどの乗り継ぎの意見も含めて、幹線とフィーダー系の分担を変更し、乗り継ぎして利用するという案がもし出れば、今後検討していく必要があると思います。

○議長より意見

- ・利用者からすると、路線が重複してもそれぞれ運行時間が違うので、重複していても問題ないと思います。そうすると料金で路線を選ぶ可能性があると思います。

○委員Fより意見

- ・乗り継ぎの話については、今後、復興計画に合わせてバス停留所の位置や個数など、相談に乗りたいと思います。

○委員Dより説明

- ・ミヤコーバスさんのバス交通空白エリアを補完する形で、乗り継ぎによるネットワークを作り上げることができれば良いのかなと思います。新しい女川駅舎が完成する頃には結論を出さなければいけないと思います。

○委員Gより意見

- ・情報提供として、女川町の方では無料でバスを運行していますが、沿岸被災市町村 15 のうち、無料運行しているのが、山元町、亘理町、女川町、南三陸町の4町だけになっていて、他の市町村は有償にしています。
- ・一度無料にすると、それを有償に戻すタイミングが非常に難しいと思います。先ほど、仮設があるうちは無料という考えの説明がありましたが、どのタイミングで有償に戻すのか、町民の方々にどのタイミングでアナウンスして納得してもらうのかということを考えていくことが非常に重要だと思います。

○議長より意見

- ・その他、よろしいでしょうか。特になければ次に進めていきたいと思います。
- ・次はその他ということですが、事務局の方で説明をお願いします。

○事務局より説明

- ・その他として資料4～資料7について説明した。

○委員Gより意見

- ・資料4で五部浦便や北浦便について、1人あたりの単価で3,000～4,000円かかるということになっています、仮に起点から終点までタクシーを使うとどのくらいの料金が必要になるのでしょうか。

○委員Eより説明

- ・終点まで五部浦便の方は4,500円程度、北浦便の方は3,500円程度となります。

○委員Hより意見

- ・今回の検討内容はバスだけが対象になるのでしょうか。それともタクシーを含めた形で検討するのでしょうか。
- ・東松島市では地域公共交通会議の中で、タクシーも含めて検討していました。

○事務局より説明

- ・今回のネットワーク計画の趣旨ですが、震災復興に向けた女川町の公共交通計画ということになるので、その中には町民バス以外の交通機関、タクシーも含みます。
- ・また、鉄道との役割分担、ミヤコーバスとの役割分担、場合によっては有償の福祉輸送との役割分担などを含めて検討していきたいと思います。ただ、直近の課題としては、町民バスに対して

ニーズや要望があるので、それに対してどのように対応していくのかを大きなテーマとして掲げて、来年度以降どのように運行を見直すのかという部分を重要ポイントとして挙げていきたいと思いをします。

○委員 H より意見

- ・タクシーも検討対象になるということですが、これまではタクシーでも補助金はあったのでしょうか。

○委員 G より説明

- ・東松島市はデマンドタクシーなので、道路運行法上はバスとして、車両の大きさがバスではなくて小型のタクシーあるいは5人乗りのセダンタイプのタクシーが使われています。
- ・いろんなモードの中で、どれが一番ネットワークとして適しているのかを全体的に今回の会議の中で検討すれば良いと思います。

○事務局より説明

- ・北浦便と五部浦便については、利用者が少ない状況なので、ワゴン車タイプの車両を現在、使用して運行していますが、なおかつそれでも人数に余裕があるのであれば、タクシーそのものを利用した形態を考えていく必要があると思います。

○委員 A より意見

- ・特に五部浦便と北浦便ですが、上りに比べて下りの利用者が少ないと思います。これは、帰りは送迎やタクシーを利用しているなどの実態は把握しているのでしょうか。

○事務局より説明

- ・おそらく帰りについては、家族等が送迎していると思います。
- ・病院については、行きはバスを利用して、帰りは知り合いに同乗させてもらうなどのパターンが多いのではないかと思います。

○議長より意見

- ・プラグインハイブリットについて、実証試験で良いものだということになれば、実用化を検討するのででしょうか。

○事務局より説明

- ・バス車両自体が、中型で大きめのサイズになるため、女川の利用実態にはあまり合わないと思います。もう少し小型化の車両が出れば良いと思います。

○事務局より説明

- ・設置要綱の第5条第3項について、会長の職務代理者をこの会議の中で予め決定していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○議長より説明

- ・会長に事故があるときは、予め会長が指名するものがその職務を代理するというので、会長指名で、住民代表ということで、齋藤委員にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。
- ・それでは、以上で予定していた議事を終了したいと思います。

○事務局より説明

- ・委員の皆さま、会議お疲れ様でした。本日の内容等、また今後の会議等を踏まえて、女川町地域公共交通ネットワーク計画策定を示させていただきたいと思います。よろしくお願い致します。
- ・なお、本日の会議の結果については、要綱第6条第5項の規定に基づいて、町のホームページにおいて公開させていただきますので、予めご了承お願い致します。
- ・今年度は、今後2回ほど地域公共交通会議の方を予定しています。次回は11月下旬頃を予定していますので、後日、日程等お知らせしたいと思います。よろしくお願い致します。
- ・以上で、平成25年度第1回女川町地域公共交通会議の終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。